



Be a gift to the world

2015-16年度 国際ロータリー第2790地区(千葉県)

ガバナー月信

地区行動目標：原点を知り、考える

2016年 **4** 月号

発行／2016年4月1日 VOL.10

COPY FOR MEMBERS

母子と健康月間



左より藤崎次期地区幹事長、梶原地区幹事長、櫻木ガバナー、青木ガバナーエレクト、寺島ガバナーノミニ、神野次々期地区幹事長
／成田ビューホテル 2016.3.5

地区大会を終えて

去る2月6日、7日の地区大会では多くの方々に大変お世話になりました。

皆様がこの月信を読む時にはもう4月。何で今さら地区大会の記事だ?! と不審に思われるかも知れません。しかし書いている私は地区大会の翌日、2月8日に書いています。月信は2ヶ月先の記事を書くのです。

ホストクラブとコ・ホストクラブ

地区大会はホストクラブの全員の力による総力戦です。また、分区内のコ・ホストクラブにも大変お世話になります。今回は2年連続で第3分区分Aからガバナーを輩出したので分区内のクラブも2年連続のコ・ホストで大変だっただろうと思い、感謝いたします。

地区幹事

コ・ホストからも地区幹事を出して頂いています。これは市原RCの白鳥政孝PGの2年目からと聞いています。ガバナー輩出クラブの負担を軽減するための方策だったとも。ガバナーを2期連続で務められることの大変さを、ガバナーになってみて改めて感

じます。ガバナー業務の修了作業と次年度への準備作業が同時並行です。単年度でも大変な作業がダブルなので如何に大変だったか……。

役割の分散

勿論、輩出クラブも大変なんです。白鳥2期目年度には地区幹事長は分区内の他クラブから出ました。千葉北RCの石井七郎さんです。2期連続のガバナーという当地区では前例のない事態に直面した時に新しい考えが生まれます。これが地区運営の改良に繋がりました。逆境を逆手に取った訳です。

ホストする事

本年度も地区大会という大事業に向けて千葉RCのメンバーが一丸になって各々の力を発揮してくれました。さすがロータリアン、皆さんの底力はすごい!! また、全員が一つの目的に向かって進むことで会員意識が高まったのではないかと思います。確実にクラブの雰囲気は変わります。この大事業は負担なのか? それともチャンスなのか?

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー

櫻木 英一郎
(千葉RC)



クラブ定款は自分のクラブの独自のものか？

国際ロータリー第2790地区
2015-16年度ガバナー 櫻木英一郎
(千葉RC)

■定款に関する指導

私はクラブ訪問で定款について話をさせて頂きました。昨年度の宇佐見ガバナーも定款に触れられました。その際の指導は、手続要覧に記載されているクラブ定款をそっくりそのまま掲載し、選択は口に✓を入れ、クラブ名と所在地だけを記入するという内容でありました。

■さて、本年度の各クラブの定款の記載は？

本年度の各クラブの活動計画書に掲載されている定款が全部このようになっていたところ、そうではありませんでした。クラブ訪問の結果、昨年度の宇佐見ガバナーの指導を理解したクラブ、指導に従ったクラブ、忘れて前年同様のものを掲載したクラブ、クラブ内で検討して信念を以て自クラブの考え方を貫いたクラブがある事が判りました。その結果、当地区内には10種類以上の定款が存在することになっていました。

■どこが異なるのか？

焦点は第2条、第3条、第6条、第9条にあるEクラブ条項と、その各条の前にある口と、条文のタイトルに付随する（1つを選択する）という記載です。地区内にはこれらを全て記載した定款、部分的に削除した定款、全部削除した定款があります。これは条文の削除であり、条文の記載内容を変えたわけではありません。しかも自分のクラブとは形態が違うEクラブに関する条文なので、削除したことに對する是非の判断は難しい処です。要は（1つを選択する）の選択方法の解釈の違いです。選択したものだけを記載して不要なものは削除することも選択の方法だと言い得ます。だから、削除することがいけないと即断はできない処でもあります。

■組織規定とは

ロータリーには組織規定というものがあります。RI定款、RI細則、そして標準ロータリークラブ定款の3つを言います。これらは各クラブの裁量によって変えることはできません。変えるには「所定の方法で」とRI細則で決められています。所定の方法とは規定審議会に制定案として改定議案を提出して可決される事です。では、自クラブの形態に合致しないEクラブの条文を削除する事が「変える」事にな

るのでしょうか？

■標準ロータリークラブ定款

通常、我々がクラブ定款と言っているものは標準ロータリークラブ定款と呼ばれます。これは手続要覧の黄色いページ、或いはマイロータリーの「ラーニング&参考資料」の中で組織規定又は規定審議会の項で見る事が出来ます。これは雛形と言えるものです。手続要覧ではクラブの名前と所在地を書き込むのは下線が引かれている部分です。また、口に✓が入られます。しかしこれだけでは不要な条文を削除してよいかどうかは判断できません。

■マイロータリーでは

では、マイロータリーではどうなっているのでしょうか？上述の場所のリンクから標準ロータリークラブ定款を開けます。PDF形式で示されます。そして、部分的に灰色になっているところが加筆入力が可能です。その部分は、手続要覧では下線が引かれている部分です。則、クラブの名前を記載する場所が2ヶ所（標題と第2条）と所在地を書く場所（第3条）、更に2、3、6、9条の条文の前にある口です。つまり加筆入力可能な部分が指定されており、それ以外はPDFなので変更できません。勿論削除も出来ません。これをどう考えましょうか？

■総合判断

ここまで考えると、やはり自分のクラブと形態が違うからという理由でEクラブ条項は削除してはならないと判断すべきではないでしょうか？PDFで示される条文の前の口も灰色で✓の加筆入力が可能になっているという事はこの口は決して飾りではない事を示しています。

■定款はよくできている

定款を穴が開くほどよく見ると非常に細部まで考えられてよくできている事が判ります。文字の太字、細字、文字の大きさの違いなどにも意味が込められています。また、各条文もじっと考えながら読むと何を言わんとしているかが判ってきます。自分たちの理念や行動を規定する定款です。一度ゆっくりと読んでみて下さい。

地区チーム研修セミナー設営にあたって

日時 2016年3月5日(土)

場所 成田ビューホテル

2016-17年度地区幹事長 藤崎 政弘
(成田コスモポリタンRC)

昨年の9月から青木ガバナーエレクト事務所を千葉市に開設以来、成田市から事務所への定期的な往復を重ね、次年度へ向けての諸会議の設営や、地区予算案、地区組織図の構築をはじめ、3大セミナーのトップを飾る「地区チーム研修セミナー」の開催に向け、準備を進めてまいりました。昨年の8月に当クラブのメンバーを中心とする地区幹事団を結成し、皆の助けを借り、本セミナー当日を迎えることができました。

本セミナーは青木ガバナーエレクトにとってはRI会長のメッセージやテーマ、そしてガバナーとしての第2790地区の活動方針を分かりやすく、「地区チーム」に説明する貴重なセミナーであり、地区組織をスムーズにテイクオフさせるための会議です。

朝10時からスタッフによる受付や会場の準備が活気を呈し、続々と地区チームメンバーの登録が進み、会場には熱気が立ち、セミナー開催時間が近づくにつれ緊張感が高まり、皆の食入のような視線が1点に集中し、青木ガバナーエレクトの点鐘で、国際ロータリー第2790地区2016-17年度の幕が切って落とされました。と同時に静まり返った会場には、安堵と期待とが入り混じっているような感じを受けました。これから始まることへの若干の不安やその責任の重さを感じたのは私だけではなかったと思います。

本会議が終わり、第2部の第5回ガバナー補佐会議並びに委員会別会議へと、皆足早に向かっていきました。パストガバナーの皆様方もそれぞれの委員会にご同席いただき、委員長の活動方針や委員会活動予定を委員の皆さんと確認して頂き、結束力を高めたものと確信しております。なかには白熱した委員会もあったようでした。新委員長のもと、ぜひ活発な委員会活動を展開していただきたいと、心より期待をするところであります。

第3部の懇親会では、皆さんの笑顔が印象的でした。本会議場での雰囲気とは打って変わり、笑顔で会話を交わす「地区チーム」のメンバー達でした。私も、このセミナーが無事に終了し、安堵とともに、次なるセミナーに向かって邁進する自信となりました。

た。

この地区チーム研修セミナーにご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げ、また開催に向けご協力いただいた成田コスモポリタンRCをはじめとする9分区の地区幹事団の皆様、そして事務局員に感謝申し上げます。有難うございました。





地区補助金の活用について

ロータリー財団委員会
地区補助金小委員長 伊藤 正人
(鴨川RC)

1. 地区補助金の推移

「未来の夢」計画がスタートして3ヶ年が経過しました。

3ヶ年の2790地区における地区補助金の推移を見ますと、地区財団活動資金(DDF)は、概ね19～23万ドルでした。3年前の年次寄付総額の50%を上限として国際ロータリー財団に地区財団活動資金(DDF)を申請します。更にその年次寄付総額の50%と恒久基金収益の50%の合計額が地区補助金となり概ね6～8万ドルになります。このうち(親善)奨学金、地区セミナーなどの経費を差し引いた金額が各クラブ及び地区奉仕プロジェクト委員会が実施する奉仕プロジェクトへの原資になります。(親善)奨学金につきましては、毎年多数の応募者があり、地区財団委員会としても出来る限り存続させたいという意向から、毎年一人を輩出してきました。

各クラブからの地区補助金申請件数と、交付金額は、13-14年度が19件で約365万円、14-15年度が27件、約547万円、15-16年度が32件、約627万円と増加しています。地区内各クラブの皆様にも、地区補助金に関して申請方法や使い易さなどの理解が深まってきたものと考えています。

青木年度につきましては、DDFは217,238ドルを申請し、平和センターのホストエリアであることによる寄付25,000ドル、さらにはポリオ・プラスへの寄付25,000ドルを差し引いて、地区補助金として80,238ドルを確保しました。

2. 地区補助金に関する留意事項

地区補助金の目的は、ロータリー財団の使命に沿った短期プロジェクトを支援することであり、対象となる活動の要件として、●財団の使命に沿った活動であること、●ロータリアンが積極的に関与することが求められます。また、地区補助金を申請するためには、●クラブは2790地区に対し

て覚書(MOU)を提出すること、●毎年開催される補助金管理セミナーに一人以上出席することが必要です。

地区補助金の目的外使用その他の不正を防止し、財団の実施する監査をクリアするためにも、地区とクラブは財団の資金をしっかりと管理する責任があります。

地区補助金の申請にあたっては、「ロータリー財団地区補助金とグローバル補助金・授与と受託の条件」(ハンドブックp30)を遵守し、交付対象となる費用(ハンドブックp7～8)をよく理解していただくようお願いします。

財団への申請は、地区が年に1回一括して行います。新年度早々に各クラブに補助金を交付するためには、遅くとも5月末ないし6月初頭に財団に申請を上げなければなりませんので、各クラブから地区への申請書提出は3月末日としてあります。また、財団に対して事業完了報告書を提出して財団の承認を得ないと、次年度以降の補助金申請ができなくなる可能性がありますので、事業完了後速やかに地区に対して報告書を提出してください。

奉仕プロジェクト委員会と連携して、地域のニーズを掘り起こし、知恵を絞って積極的に奉仕活動に取り組んでください。

そのための資金として財団の地区補助金を活用すれば、地域社会からのクラブに対する評価があがり、ロータリークラブで地域社会あるいは国際社会で奉仕活動に携わりたい、貢献したいという人が増え、会員増強に資すると思います。

地区補助金を活用して、地域社会や世界でよいことをしましょう!!!

2015－16年度 地区補助金申請一覧

	クラブ名、プロジェクト名および開始日	費用総額	活動の種類、ロータリアンの活動	恩恵を受ける人	備 考
1	市川シビック 市川少年少女サッカー大会 2015年7月1日～8月末日	500,000	教育（ボランティア） グラウンドの整備・清掃・試合の応援。閉 会式及び表彰式への参加	1,600人	青少年の健全育成、 地域社会との交流・ロータリークラ ブの広報活動
2	市川南 公園への滑り台の寄付 2015年8月1日～2016年2月28日	380,000	地域社会の発展（一般） 滑り台設置場所の確保、設置事業者の選 定・設置指示	1日約30人	子供の遊び場所が増えることにより 地域住民の公園利用増
3	船橋 公園に健康遊具を設置しよう 2015年7月1日～2016年6月30日	958,176	地域社会の発展（一般） 各自の時間で公園に赴き、公園利用者とし もに遊具の利用方法について体现する	不特定多数	無料で気軽に利用することにより 運動不足や身体の柔軟性の維持に 役立つ
4	船橋みなと 船橋市立湊中学校・愛のコンサート 2015年11月20日	406,000	教育（ボランティア奉仕） 中学校との打 ち合わせ、会場設営、進行補助、感想のま とめ・冊子作成	約650名	特別支援学級の生徒に、能動的に自 分で考え、目標を持ち活動する意義 を説く
5	船橋西 子供たちを危険から守る活動（あんしん教室） 未定	480,000	学校側、協力団体との打ち合わせ、授業参 加・生徒見学、指導終了後に参考本・防犯 グッズ渡し	500人	子供たちや家族が対処法を学ぶこ とで防犯意識が高まる
6	船橋東 ボーイスカウトへの災害備蓄物資支援及びキャンプ 場整備事業 2015年7月31日～2017年6月30日	630,000	地域社会の発展（一般） ボーイスカウト活動拠点の整備 ボウイ スカウトとの自炊の方法や炊き出しイベント の共催	80名	地元ボーイスカウトと協働し、災害 時の自炊方法の体験や交流により、 相互の活動を理解する
7	新千葉 教育ボランティアと地域社会の発展への貢献 2015年7月1日～2016年6月30日	900,000	地域社会の発展・教育（ボランティア） 千 葉経済高校生徒・千葉聖心幼稚園児を博物 館へ招待しての体験学習 「カソリウス」 ぬいぐるみ提供	約150名	加曽利貝塚の文化的・歴史的価値を 広める機会を作るとともに、地域社会 に史跡保存の重要性を理解させる
8	千葉 障害者と地域住民、楽しくコミュニケーションをと りあおう 2015年9月14日	100,000	地域社会の発展（一般） 障害者のパン・焼き菓子製造・販売	700名	地域住民に障害者との共生につい て考え・感じてもらう
9	千葉中央 房総双葉学園との交流会 2016年4月10日～4月24日	300,000	地域社会の発展、教育 食事やゲーム、プレゼントの準備、当日の 食事やゲーム大会の補助	50名	子供たちの社会性や人間性を育み、 社会に適応できる人間形成を促す
10	市原中央 市原市上総更科公園にベンチの寄贈 2015年7月1日～8月31日	234,000	地域社会の発展（一般） ベンチ寄贈のため資金調達、ごみゼロ運動 時の公園周辺清掃	不特定多数	①公園利用者にとってより一層の 憩いの場所、平穏な時間の提供 ②ロータリー活動の広報
11	千葉港 ラオス国小学校への設備支援プロジェクト 2015年7月1日～11月30日	600,000	教育（識字率の向上） 黒板現地制作の指示確認 現地における設 置のサポート、確認作業	約800～ 1000名	ラオスの学校に新しく見やすい黒 板を提供し、識字率の向上に寄与
12	千葉北 人にやさしい街づくり 2015年10月	500,000	地域社会の発展（ボランティア） ベンチ設置の認可申請、公園内の公衆トイ レの清掃、周辺花壇の整備、公園内の美化 運動	葭川公園付 近の住民、 勤務者	中心市街地で生活する高齢者の休 息と乳幼児（母親を含む）の休憩場 所の提供
13	君津 駅前ロータリーを花いっぱいにしよう 2015年7月1日～2016/6/30日	400,000	地域社会の発展（ボランティア） 花壇の整備、花を植えて育てる 中学生との交流	君津市民	駅前をきれいにし、市民の心をいや す場を提供。子供たちと一緒に植え ることで交流をもつ
14	鴨川 津波襲来時避難誘導標識設置 2016年2月1日～2月28日	648,000	地域社会の発展（一般） 避難経路標識の図案作成、標識設置位置の 選定、用地占用許可申請、設置工事（立会 い）	海水浴客、 サーファー その他（約 15,000人）	津波襲来時に速やかな避難を可能 とすることにより安心して海水浴 を楽しめる
15	館山 安心・安全な海水浴場を子供たちと一緒に作るプロ ジェクト 2015年7月10日～10月31日	700,000	地域社会の発展（一般） 行政との打ち合わせ、事業のPR活動、海 岸の美化運動、児童生徒との交流	約3,000人	・安全、安心な海岸づくりによる観 光資源の質向上 ・利用マナーの向 上による事故防止 ・子供たちとの 共同作業を通じた青少年健全育成
16	鋸南 鋸南ロータリー杯争奪野球大会 2015年12月～2016年6月	350,700	地域社会の発展（一般） 大会の運営、グラウンドの確保・整備、表 彰式設営、表彰と講評	約1,400名	・他地域の先生や生徒、ロータリ アンや地元父兄との交流による地域 活性化 スポーツを通じた健全な 精神と肉体の育成
17	勝浦 野球教室をとおした地域野球中学生の健全育成プロ ジェクト 2015年12月23日（予定）	400,000	教育（ボランティア奉仕） 郡市中学野球 部との野球教室コーディネート、グラウン ドの整備、円滑な野球教室補助、メディア への広報活動	中学生30名、 保護者20名、 監督5～6名	プロ選手の直接指導で、青少年の夢 の実現可能性体感 地元メディア を通じたロータリーの社会的周知
18	千倉 南房総市・鋸南町中学校新人野球大会 2015年8月15、16日	182,000	地域社会の発展（一般） 本部とグラウンドの連絡係り、応援団	中学生 約1,200名	7町村合併後の市全体の纏まり促 進、ロータリー活動の紹介
19	成田空港南 横芝光町剣道大会へ優勝カップ贈呈と大会サポート 2015年9月1日～2016年2月20日	475,180	地域社会の発展、教育 企画・運営・会場設営、審判員	2,500名	伝統ある剣道大会に新規の優勝杯 を贈呈し、大会を盛り上げること で、地域の活性化と青少年の育成に 貢献
20	東金 国際奉仕プロジェクト（青少年との交流） 2015年12月12日	100,000	教育（一般） 青少年との交流を通じてロー タリーの活動への理解推進、グローバル人 材育成の働きかけ	青少年 約60名	地域における国際ロータリーとの 活動理解、国際ロータリーの活動の 幅拡大
21	多古 第15回多古町近隣小学校駅伝大会 2015年12月5日	423,000	教育（ボランティア奉仕） クラブ銘入り記 念品（文房具等）贈呈、優勝旗、カップ贈 呈、大会PR、応援、沿道警備	出場選手他 930名	多古町及び近隣の児童が相互の親 睦を深め、体力の向上を促すとともに、 スポーツマン精神の高揚を図る
22	成田 日本に繋がる新モンゴル高専を応援しよう 2015年7月1日～2016年3月31日	500,000	教育（奨学金） 新モンゴル高専において講義、新モンゴル 高専の生徒及び教師の会社見学受け入れ	15人	日本の産業技術に対する国外での 評価を認識できる 新モンゴル高 専の見学者を受け入れるための環 境整備ができる
23	八街 防犯カメラ設置による八街市内の防犯活動 2016年5月1日～5月30日	946,080	地域社会の発展（一般） 犯罪発生時の警察への協力、設置場所を交 代でパトロール	八街市民 約73,000人	犯罪防止及び犯罪発生時の捜査協 力

	クラブ名、プロジェクト名および開始日	費用総額	活動の種類、ロータリアンの活動	恩恵を受ける人	備 考
24	柏西 ネパール支援プロジェクト 2015年9月1日～2016年2月24日	700,000	地域社会の発展（一般） 古着の提供を地域社会へ呼びかけ、学校・老人介護施設を回り、多くの人と触れ合い、現況を確認	500名	アジア最貧国からの脱却と識字率向上 公共イメージと認知度の向上
25	柏東 特別老人ホーム・老人ケアハウス支援プロジェクト 2015年9月21日～12月25日	300,240	地域社会の発展（ボランティア） 会場設営、会場での入居者との交流	約150名	地域、高齢者施設に対する支援を通じて、ロータリークラブの有意性を高め、知名度を上げる
26	習志野 障害者施設活動支援奉仕プロジェクト 2015年10月中旬～下旬	200,000	地域社会の発展（ボランティア） 障害者施設入所者たちと協力してベンチの設置作業、イベント開催時にメディア参加推進		公共の場にベンチなどを設置することにより、より多くの市民に憩いの場を提供し、利用促進が望める
27	習志野中央 花の実園障害者就労支援プロジェクト 2015年7月1日～2016年3月31日	150,000	地域社会の発展（一般） 贈呈式への参加、交流会への参加、作成した木工品の運搬・設置補助	50人以上	生産活動及び受注等の作業に取り組み、達成感と充実感から勤労意欲の向上を図ることで、入居者の自立に寄与
28	松戸 社会福祉法人まつど育成会応援団 2015年7月1日～2016年6月30日	200,000	地域社会の発展（ボランティア） 家庭内の物品をバザールに提供、チャリティバザールの会場設営、当日手伝い	知的障害者及びその家族約200名	知的障害者との交流により、子供たちの就労機会や作業所提供、技術支援などの支援協力
29	松戸西 障害者自立支援 2015年9月1日～9月10日	260,000	地域社会の発展（一般） 音響機器の購入と設置運搬、寄贈セレモニーと記念植樹	約100人	財政難の自治体に代わり、音響機器の寄贈により、障害者の自立を支援する
30	野田セントラル （フィリピン）クリニックとキッチン増築 2015年7月1日～2016年3月31日	606,456	保健（一般） 医療器具・料理器具・用品の手配、医師の検診・相談チーム、建設監督、電気工事監督		Sibol Learning Center 及び周辺地域およそ2,000世帯への長期的、効果的なサービス
31	流山 柏流山さよなら少年野球大会支援プロジェクト 2016年1月11日～2016年2月中旬	110,000	教育（一般） 会場設営、参加者への会場案内、飲み物配布、メダル授与	100人	子供たちがチームワークの大切さを学び、心身を鍛えることにより健全な青少年育成に寄与
32	地区ロータリーアクト委員会 障害を持つ子供たちと、ロータリーアクト・インターアクトたちとの合同運動会 2015年9月19日	220,000	教育（ボランティア） 競技への参加、ロータリーの活動説明、統括など	RA、IA等 50名	障害等を持つ子供たちの外部との関わる機会を提供、ロータリーの周知
33	第2790地区 地区補助金奨学生派遣				
34	第2790地区 地区補助金奨学生オリエンテーション				
35	第2790地区 補助金管理セミナー				
36	第2790地区 事務費				
37	第2790地区 臨時費				
	金額合計	13,859,832			

地区補助金について

補助金事業には、地区補助金事業とグローバル補助金事業の2種類があり、この地区補助金事業とグローバル補助金事業の基本的な違いは下記の通りです。

（ア）地区補助金事業は、地元における社会奉仕事業を中心に行うもので、比較的小さな単年度完結型プロジェクトを支援するもので地区補助金プロジェクトと呼んでおります。

（イ）対して、海外のロータリークラブと協力し、比較的大規模なプロジェクトを、支援するのが、グローバル補助金プロジェクトです。

これらの事業を行うための財源は全て皆さんに協力いただいた年次寄付からです。

3年前の2013-04年度に皆さんがクラブを通じて寄付下さった総額26万6681ドルが全ての始まりです。この50%にあたる13万3340ドルがアニュアルファンド（年次基金）と呼ばれるものです。3年間、RIの財団管理本部で様々な投資事業を行い、寄付額の半分が地区に戻されます。残りの半分はワールドファンド（国際活動資金）口座に積み立てられボリオ事業や世界平和とフェロー事業に使われます。次にベネファクター（恒久基金）です。

恒久基金にご寄附頂くと、ベネファクターの称号とベネピンが財団本部より贈られて来ます。恒久基金は元本には手を付けず、今まで積み重ねた収益のみを毎年繰返し運用し、その収益をもって活動資金に充てています。2016-17年度の恒久基金は2万7,137ドルと発表されています。以上2つの基金合計の50%即ち13万3,340ドルの半分6万6,670ドルと2万7,137ドルの半分1万3,568ドルの合計8万238ドルが地区で使える補助金の上限になります。

昨年度は当地区全てのクラブから年次寄付にご協力頂きましたので、寄付ゼロクラブは消滅しています。今年度、未だ残念ながら2月末の時点では消滅しておりません。今年度の話で恐縮ですが、皆様クラブへ戻られ本年度財団委員長にひと言お声掛けをお願いします。

次期財団委員長の皆さまにも合わせてポール ハリス ソサエティ推奨をお願いします。

毎年1000ドルをご寄付下さる会員は10回をもってメジャードナーへ昇格されます。

その道標としてポール ハリス ソサエティをお薦め下さい。ポール ハリス ソサエティの宣言をされたからと云っても、無理な年のご寄付を頂かなくとも大丈夫です。

PHSバッジを着ければ、励みになります。是非に宣言をお願いします。

今年度、当地区年次寄付目標はお一人130ドルを目標にしており日本全体の目標は一人150ドルです。何卒皆様のご協力をお願いします。

「ロータリーの樹」

ロータリー理念研究委員会
松田 泰長
(成田RC)



出典：2008年国際協議会 渡辺好正 元RI理事

*新世代奉仕は青少年奉仕に、綱領は目的に変更されています

この画はロータリアンであれば一度は目にしていると思います。2008年国際協議会に於いて渡辺好正元RI理事が職業奉仕の重要性を説いた講演で使用したものです。

クラブ奉仕という「根」から吸収された「水」と「栄養」、すなわち、「サービスの理念」は、ロータリーの根幹といわれる職業奉仕の「幹」に入り、「幹」の中にある「奉仕の理想」という導管を通して「社会奉仕」、「国際奉仕」という枝や葉に届き、そして、「ロータリー財団」という「花」を咲かせます。また、それぞれの奉仕活動が、すべて、お互いに助け合い、励まし合い、相働いて多くの「実」を結びます。そして、ロータリーの先輩たちが、過去において夢見ていた多くの事柄、また、現在に生きている私たちが夢として抱いている多くの事柄が、「形あるもの」となるのであります、と解説されました。

今年度も残り3ヶ月となっており、地区、各クラブ共に年度計画に照らして纏めの段階となっております。

皆さんそれぞれの立場で達成率はどのくらいですか。

2790地区は地区大会が終わり、次年度へ向けての活動がスタートしております。「地区チーム研修セミナー」、「PETS・会長エレクト研修セミナー」、「地区研修・協議会」が開催され、各クラブに於いても次年度計画が協議され纏めに入っているところと思われます。

皆さんの所属した委員会、又は携わったプロジェ

クトの枝と葉は大きく育ちましたか？花が咲き実を結びましたか？

ここで今年度櫻木ガバナーの「原点を知り、考える」に併せもう一度考えて見ましょう。

お酒を伴う親睦行事とゴルフには多くの参加があるけど例会と奉仕事業への参加は今ひとつ、継続事業も年々盛り上がり欠けるという反省が常にあります。なぜでしょう、各クラブの会長さん、委員長さん、プロジェクトリーダーさんは「ロータリーの樹」のどの部分で活動をしましたか、実をならそうとする枝を見て剪定をし受粉の手伝いをして摘果を施し漸く実がなりました、しかしその実が美味しくなかった！！ということですね。なぜでしょう、実を美味しくする水と栄養が足りなかったことです。

土の手入れはしましたか、肥料は施しましたか、水はやりましたか、下草を取り幹に日が当たるようにしましたか、そうです、根と幹がしっかりしていなければいけないのです。

「根」のクラブ奉仕は親睦が核です、親睦活動ではなくfellowship・友情、友愛です、毎週の例会でそれぞれが認め合い何でも相談出来る仲間となることです。

「幹」は職業奉仕です、ロータリーの一部には、職業奉仕は、難解であるが故に、ロータリーの拡大や会員増強、会員維持の妨げになっているという意見が聞かれることがあります、事実は逆です。世界でも、自己の利益のみを目標としたために、巨大企業の不祥事が起こっており、日本でも、各方面での不正が多発しております。自分自身の職業が、他人のための事業であるとの認識に立つとき、ロータリーの職業奉仕の真髓が理解できると思います。歴史的に見ても、今ほど、職業奉仕の理念を必要としている時はありません。

「事業の倫理的水準が理想に近づいている場所でロータリーが最も栄えるとは喜ばしいことではないでしょうか」とは、ポール・ハリスの言葉です。

ロータリーは単年度制です、しかし例会で育まれた親睦と奉仕の理想は年をます毎に深く大きく育っていきます、毎年実の収穫ばかりを気にしていると「樹」が弱ってしまいます、1年先、2年先、10年先の収穫のために「根」と「幹」を丈夫に育てましょう。

参考文献：2008 年国際協議会 講演集

ロータリー理念研究委員会
海寶勘一（千葉西）、平山勝已（千葉若潮）、
大内 啓（柏南）、島 正彦（館山）、松田泰長（成田）

文 庫 通 信 (342号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「職業奉仕を学ぶ」

- ◎「会社は誰のものか」 深川純一 2015 16p (職業奉仕を学ぶ)
- ◎「企業の社会的責任(CSR)について」 安平和彦 2015 10p (職業奉仕を学ぶ)
- ◎「職業奉仕月間に思うロータリーのこころ」 中谷研一 2016 3p (D.2550月信)
- ◎「職業奉仕月間について思う事」 梅津敏光 2016 1p (D.2800月信)
- ◎「職業奉仕活動の実例」 保延輝文 2016 2p (D.2820月信)
- ◎「職業奉仕月間に困って 新入会に向けて」 福田武男 2015 4p (D.2510月信)
- ◎「職業奉仕について」 岩田勝美 2016 1p (D.2630月信)
- ◎「『四つのテスト』は職業奉仕の哲学」 坂本俊雄 2015 3p (ロータリーへの私の想い)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま192号)

～今月のトピックス～

- ・寄付金速報 ― 下半期の寄付状況 ―
- ・さまざまな寄付のカタチ ― 20年前の恩返しから ―
- ・ご存じですか？ホームカミング制度
- ・気仙沼大島へ継続的支援 ― 第2590地区米山学友会 ―
- ・ベトナムの学友が視覚障害者と交流

【お知らせ】

- ・Go Go Seoul! ～【ソウル国際大会情報】～

トピックス詳細につきましては、下記アドレスにてご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight192_pdf.pdf

《今月のピックアップ記事》

気仙沼大島へ継続的支援 ― 第2590地区米山学友会 ―

東日本大震災から5年――。ロータリークラブや地区では、今もさまざまな形で被災地への支援活動を行っています。第2590地区米山学友会（会長：ジャンマニーガム、アモンサクさん）も、震災の翌年の2012年から、宮城県の気仙沼大島への復興支援に協力しています。

きっかけは、気仙沼大島で瓦礫撤去などのボランティア活動を行った同地区の米山学友、キョウ雷さんと呂学龍さんが、学友会としても支援しようと呼びかけたことに始まります。

最初の活動として、同地区の後援を得て、2012年5月に横浜市内でチャリティー・コンサートを開催し、集まった寄付金を気仙沼大島の災害対策本部長に贈呈しました。

翌2013年3月には、中国人画家・常嘉煌さんが創作した油絵を贈呈に、同11月には現地の社会福祉協議会や教育委員会の要請に応じてミニコンサートを開催するために、学友らが現地を訪問しました。

2014年9月には、気仙沼市内の小学校で国際交流授業を実施。そして、昨年4月には気仙沼大島つばきマラソンに参加するとともに、前夜祭としてミニコンサートを開催して、企画を盛り上げました。

これまで2回、現地を訪れて活動に参加した前会長のエソダ・バスネットさんは「気仙沼の皆さんの笑顔に、こちらが勇気や元気をもらうことが多かったです。私の母国ネパールも昨年、大地震に見舞われ、大きな被害を受けました。日本・ネパールの両被災地の皆さんと手を携え、学友と協力しながら、復興支援に尽力したいと思います」と語りました。

RI シニアリーダーや各地区のガバナーが毎年度、本年度は「会員純増」目標として、各クラブ1名とか2名、或は3%とか5%といった数値目標を掲げて参りました。しかしながら、達成が簡単と思われるようなこの様な数値目標が、過去10年スパンの日本の会員数動向を見ますと、実際には達成が難しく、長期的にはマイナストレンドが続いています。

ロータリーのトップリーダーとしては、その立場上、会員増強の毎年度の数値目標を掲げないわけにはいかないことは理解できますが、その純増に必要な数人をなぜ達成出来なかったのか、その分析と今後達成可能な方法論を示せなかったことが、結果的に継続的な純減を招いたとも言えます。

会員増強がトップリーダーの掛け声だけで達成できたのは過去の産物かもしれません。日本では少子高齢化社会が早いスピードで進行してゆきます。働き手の65歳以下の職業人は10数年後には3人に1人となります。その様な変化が激しい現代社会では、特に若年層の生活感が多様化しています。ジョン・ジャーム RI 次年度会長は、会員51名以上のクラブにおいては40歳以下の会員を4名以上、50名以下のクラブでは2名以上入会出来るようにしてくださいと提唱されていますが、果たしてクラブ運営費が高い日本の都市型クラブへ入会可能な若年層の会員候補者が何名あるかです。各クラブの現状では高いハードルと思われます。

会員基盤を強化するには、各クラブが従来のクラブ運営方法やコストなどの基礎的な条件を見直し、若年層の人々が入会出来るように「クラブの体質」そのものを徐々にでも変えて行かなければクラブ会員の高齢化が進む一方で、会員の若返り、世代交代が停滞します。

各クラブの「インフラ整備」なくして会員増強はあり得ない時代になっているのではないのでしょうか。しかしながらロータリークラブの運営管理システムは「単年度制」ですから、クラブの「インフラ整備」には少なくとも3-5年間のスパンで継続的に整備して行かなければ、成果が表れてきません。急がば回れです。

第2660地区においては、この様な考え方をベースに81の各クラブが「クラブ戦略計画委員会」を立上げ、各クラブ独自の中長期の戦略計画の立案と推進を図るべく取組んでおります。本年度中に既に78%のクラブが「クラブ戦略計画委員会」立上げておりますので、数年以内に全クラブによる Bottom-up の力で会員基盤が強化される方向へ進むことを期待しております。

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付 年次寄付（マルチプル・ポール・ハリス・フェロー）



飯合 幸夫
(柏西RC)
8回目



神崎 誠
(成田RC)
7回目



高橋 宏一
(八街RC)
5回目



鈴木 健吾
(柏西RC)
5回目



廣田 二郎
(君津RC)
3回目



釘持 純一
(君津RC)
3回目



大野 眞里
(八街RC)
3回目



松本 ユミ
(柏西RC)
3回目



秋元 秀夫
(君津RC)
2回目



宮内 龍雄
(銚子RC)
2回目



青柳十兵衛
(八街RC)
2回目



樋渡 琢也
(八街RC)
2回目



塩野谷征三郎
(八街RC)
2回目



齋藤 弘之
(船橋西RC)
1回目



青柳 博
(君津RC)
1回目



阿部 正雄
(君津RC)
1回目



宮本 茂一
(君津RC)
1回目



黒岩 靖之
(君津RC)
1回目



鎌形 芳法
(八街RC)
1回目



萬来 謙一
(八街RC)
1回目



福田 守
(八街RC)
1回目



平野 雅敏
(八街RC)
1回目



嶋崎 正幸
(習志野RC)
1回目



大柳 昭
(千葉北RC)
1回目

(ポール・ハリス・フェロー)



吉野 和弘
(君津RC)



津露佐太夫
(君津RC)

丸本 暢雄
(八街RC)
1回目



湯浅 千晶
(柏西RC)



仲尾 卓史
(千葉北RC)



平山 秀樹
(成田RC)
1回目

恒久基金 (ベネファクター)

米山功労者



諸岡 靖彦
(成田RC)
8回目



岡根 清
(銚子RC)
5回目



神崎 誠
(成田RC)
3回目



堀口 路加
(成田RC)
3回目



山本 雅章
(船橋西RC)
2回目



宮内 龍雄
(銚子RC)
2回目

新ロータリアン (敬称略)



大矢 仁
(市原中央RC)
花卉販売
1月5日入会



吉成 庸子
(千葉RC)
文筆業
1月25日入会



高橋 昌宏
(千葉RC)
建築
1月25日入会



池尻 暁則
(千葉RC)
リース業
1月25日入会



成井 道也
(船橋みなとRC)
不動産
1月26日入会



伊東 幹雄
(船橋東RC)
コンサルタント
2月4日入会



江上 俊彦
(千葉東RC)
建築士
2月8日入会



北根 公博
(千葉北RC)
生花店
2月8日入会



中野 陽介
(船橋みなとRC)
古紙リサイクル
2月9日入会



平野 寛明
(君津RC)
不動産賃貸
2月15日入会



古里 正
(柏RC)
建築設計
2月17日入会



大島 誠
(佐倉RC)
農機具小売
2月18日入会



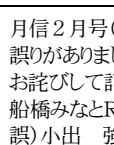
加賀谷 正
(松戸北RC)
外科医
3月1日入会



鯨井 祐介
(船橋東RC)
コンビニエンスストア
3月3日入会



島田 直弥
(八千代中央RC)
産業機械修理
3月8日入会



月信2月号(VOL. 8)の掲載に誤りがありました
お詫びして訂正致します
船橋みなとRC 新ロータリアン
誤)小出 強→正)小出 勉

R I 第2790地区（千葉）2016年2月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市 川	100.00	3	39	0	41	0	2
	市 川 東	100.00	4	41	0	41	0	0
	市 川 南	82.00	4	16	2	17	2	1
	浦 安	85.80	4	35	1	35	1	0
	市川シビック	86.11	5	36	0	35	0	△ 1
	浦 安 ベイ	68.75	2	16	0	14	0	△ 2
	平均	87.11	3.67	30.50	0.50	30.50	0.50	0
第2分 区	船 橋	87.04	4	23	0	28	0	5
	船 橋 西	88.59	4	41	7	41	7	0
	鎌 ケ 谷	84.62	3	29	2	32	2	3
	船 橋 東	89.66	3	28	1	30	2	2
	船 橋 南	86.36	4	14	2	16	4	2
	船 橋 みなと	94.08	4	17	4	22	5	5
	平均	88.39	3.67	25.33	2.67	28.17	3.33	17
第3分 区 A	千 葉	93.38	5	66	1	74	2	8
	新 千 葉	80.27	4	50	0	52	0	2
	千 葉 西	93.63	4	59	4	59	4	0
	千 葉 中 央	94.10	3	37	0	34	0	△ 3
	千 葉 幕 張	93.92	4	35	2	38	2	3
	千 葉 東	75.02	5	31	3	35	3	4
	千 葉 若 潮	67.91	3	30	1	31	1	1
	平均	85.46	4.00	44.00	1.57	46.14	1.71	15
第3分 区 B	千 葉 南	79.72	4	49	6	53	7	4
	市 原	72.02	4	41	2	42	2	1
	千 葉 港	87.88	3	21	2	24	2	3
	市 原 中 央	84.90	4	47	2	48	2	1
	千 葉 北	60.00	4	21	1	22	1	1
	千 葉 緑	54.46	4	25	2	28	2	3
	平均	73.16	3.83	34.00	2.50	36.17	2.67	13
第4分 区	木 更 津	77.00	2	27	3	29	3	2
	上 総	66.66	3	17	0	17	0	0
	富 津	67.85	4	9	0	10	0	1
	富 津 中 央	78.67	3	26	1	27	1	1
	木 更 津 東	77.40	4	42	0	42	0	0
	君 津	94.89	5	43	1	50	2	7
	袖 ケ 浦	86.38	5	23	3	24	3	1
	富 津 シ ティ	81.70	4	14	1	15	1	1
	平均	78.82	3.75	25.13	1.13	26.75	1.25	13
第5分 区	館 山	87.38	4	56	3	56	3	0
	鴨 川	86.65	3	33	7	34	7	1
	勝 浦	93.60	3	33	4	37	4	4
	千 倉	80.00	3	10	2	10	2	0
	鋸 倉 南	84.60	3	14	1	13	1	△ 1
	館 山 ベイ	71.93	3	20	0	20	0	0
	平均	84.03	3.17	27.67	2.83	28.33	2.83	4
第6分 区	茂 原	91.08	3	64	3	65	3	1
	東 金	97.22	4	22	1	21	1	△ 1
	大 原	87.66	3	12	1	10	1	△ 2
	大 多 喜	70.83	4	6	1	6	1	0

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第6分 区	成 田 空 港 南	75.02	3	37	0	39	0	2
	茂 原 東	84.52	4	22	2	22	2	0
	茂 原 中 央	88.24	4	13	2	17	2	4
	大 網	79.17	4	29	1	30	1	1
	東 金 ビ ュ ー	57.10	3	20	1	21	1	1
	平均	81.20	3.56	25.00	1.33	25.67	1.33	6
第7分 区	銚 子	93.37	4	44	4	43	4	△ 1
	旭	76.75	2	43	2	43	2	0
	八 日 市 場	94.46	4	38	2	40	2	2
	銚 子 東	89.99	4	39	2	37	2	△ 2
	平均	88.64	3.50	41.00	2.50	40.75	2.50	△ 1
第8分 区	佐 原	77.78	3	47	0	48	0	1
	多 古	73.21	4	14	0	15	0	1
	小 見 川	87.90	4	22	0	23	0	1
	佐 原 香 取	78.18	5	25	1	25	1	0
	平均	79.27	4.00	27.00	0.25	27.75	0.25	3
第9分 区	成 田	62.90	4	61	0	63	0	2
	八 街	87.41	4	30	1	32	2	2
	印 西	76.27	4	23	0	23	1	0
	白 井	55.69	5	23	0	19	0	△ 4
	富 里	76.66	3	27	0	30	0	3
	成 田 コ ス モ ポ リ タ ン	59.57	4	68	0	68	0	0
	平均	69.75	4.00	38.67	0.17	39.17	0.50	3
第10分 区	柏	69.60	4	51	10	54	10	3
	我 孫 子	72.16	3	24	1	24	1	0
	柏 西	83.58	4	62	5	64	5	2
	柏 東	84.93	3	29	3	33	4	4
	柏 南	78.00	4	33	5	32	5	△ 1
	平均	77.65	3.60	39.80	4.80	41.40	5.00	8
第11分 区	習 志 野	77.46	4	27	1	26	1	△ 1
	八 千 代	81.25	4	46	0	47	0	1
	佐 倉	61.91	4	18	2	22	3	4
	八 千 代 中 央	87.10	4	28	1	29	2	1
	四 街 道	81.47	3	23	2	25	2	2
	習 志 野 中 央	86.50	4	47	6	48	6	1
	佐 倉 中 央	74.60	3	19	3	21	4	2
	平均	78.61	3.71	29.71	2.14	31.14	2.57	10
第12分 区	松 戸	87.24	4	57	0	58	0	1
	松 戸 東	91.30	4	46	0	46	0	0
	松 戸 北	80.29	4	37	0	37	0	0
	松 戸 中 央	92.58	3	39	6	44	7	5
	松 戸 西	81.67	4	30	0	30	0	0
	平均	86.62	3.80	41.80	1.20	43.00	1.40	6
第13分 区	野 田	85.72	4	58	8	59	8	1
	流 山	73.43	4	16	4	16	4	0
	野 田 東	82.10	4	31	0	29	0	△ 2
	流 山 中 央	86.84	4	22	2	23	2	1
	野 田 セ ン ト ラ ル	87.00	3	24	0	24	0	0
	平均	83.02	3.80	30.20	2.80	30.20	2.80	0

クラブ数	84RC	2015年7月1日	地区会員数	2,711人	当月平均出席率	82.47%
		2016年2月末日	地区会員数	2,807人	増減	+96
		2015年7月1日	地区女性会員数	154人	女性会員増減	+14
		2016年2月末日	地区女性会員数	168人		

月信3月号3頁左側11行目のR財団管理委員齋藤元RI会長は、
田中元RI会長の間違いです

4月のロータリーレート

116円

広報のひろば

みなさん、こんにちは♪あつという間に4月ですね♪。
今年度も残すところあと3か月ですね。みなさんのクラブ
でも次年度の準備がそろそろ始まりましたか？

おめでとうございます



習志野中央RC創立30周年記念式典
2016年2月13日(土)

おめでとうございます



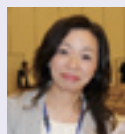
パストガバナー白鳥政孝様(市原RC)が“2015-16年
度ポリオのない世界のための奉仕賞(地域賞)”を受
賞されました。

幹事長と委員長のつぶやき



梶原：皆さんのご協力を賜り無事地
区大会を終えることができました。
ありがとうございました！

藤崎：地区チーム研修セミナーや
PETSも無事終わりのよいよ
次年度の活動が始まりだしま
した。引き続きみなさまのご
協力よろしくお願いします。



大谷：地区大会の“友愛のひろば”
では刀剣やバイクの展示があ
りました。皆さん楽しんでい
ただけましたか？
両幹事長とも体に気を付けて
がんばって下さいね！
応援しています!!

お詫び：広報のひろば2月号において“職業奉仕
リーダーシップ賞”を受賞された川原勝壽様の所
属クラブを「佐原香取RC」と記載いたしました
が正しくは「佐原RC」でした。お詫び申し上げ
ます。

このページは地区IT広報公共イメージ委員会
で担当しています。何かございましたら気軽に
ご連絡ください♪

090-1453-5825 委員長 大谷京子
kyoko@ohkei.co.jp